

## 鶴橋駅(JR環状線)

## コリアンの里から松下幸之助、落語「代書屋」まで

鶴橋駅(近鉄大阪線・地下鉄千日前線) 今里駅(地下鉄千日前線・今里筋線)

「大阪あそ歩マップ集」  
その1 No.033

## JR・近鉄鶴橋駅

鶴橋の名前は、『日本書紀』仁徳紀(5世紀)に記載された日本で最初の橋の名前・小橋がのちに鶴橋と呼ばれるようになったことから。「つるの橋跡」は南へ約1キロ、旧平野川の川筋にあります。駅は、大正3年(1914)上本町・奈良間を開通させた大阪電気軌道(大軌=現近鉄)がいまより東の場所に設置し、昭和7年(1932)に城東線(現環状線)の駅が連絡駅としてできました。

## ① 鶴橋国際マーケット

- 戦後、疎開で空地になった鶴橋駅周辺に闇市がたちました。その跡地に店舗が並び、いまの国際マーケットになっています。
- コリアンの物産店が所狭しと並んでいます。

## ② 大小橋命胞衣塚

- 「おおおばせのみことえなづか」と読みます。すぐ北にある比賣許曾神社とゆかりの深い大小橋命の胞衣(=胎児を包んでいた膜や胎盤)を納めたといわれる塚。そこに植えられた柳が子供の夜泣き封じに効くとされ「よな塚」とも呼ばれました。



## ③ 比賣許曾神社

- 『古事記』や『日本書紀』に登場する下照比賣を祀っています。旧社地は小橋にありましたが、石山合戦(1580年ごろ)の際に現在地にあった牛頭天王社に合祀され、明治になって比賣許曾神

社と改名されました。



## ④ 亀之橋跡

- ここには東小橋村と猪飼野村との境を流れていた旧平野川(古大和川)に架けられていた亀之橋がありました。氾濫を繰り返した旧平野川は、昭和15年(1940)に埋め立てられ、新しく新平野川が掘られました。八木酒店の前に亀之橋の親柱が1本残っています。

## ⑤ 梁石日(ヤン・ソギル)の『血と骨』の舞台

- ヤン・ソギルは大阪で生まれ、在日コリアン密集地域であるこの地で生活をしました。平成10年(1998)に『血と骨』を書き、平成16年(2004)に崔洋一監督、ビートたけし・鈴木京香主演で映画化され話題になりました。このあたりは昭和初期の雰囲気をもそのまま伝えています。

## ⑥ 松下幸之助起業の地

- 経営の神様といわれたパナソニックの創業者・松下幸之助が、大正6年(1917)6月に自分で考案した「松下式ソケット」を製作するために、猪飼野のこの地に家を借ります。四畳半・二畳の二間で四畳半を作業場にしました。翌年3月に福島区大開町に引っ越しています。

## ⑦ 大阪セルロイド会館

- セルロイドは歴史上最も古い人工の熱可塑性樹脂で、玩具やペン軸などに盛んに使用されましたが、燃えやすく、いまでは他の樹脂にとって代わられています。会館は国の登録有形文化財です。

## ⑧ 四代目桂米團治顕彰碑

- 桂米團治は上方落語の名跡で、弟子に人間国宝・桂米朝がいます。傑作「代書(屋)」は四代目の創作で、自身が代書事務所を営んでいた経験によるものです。その「代書(屋)」の舞台はこの地です。

## 地下鉄今里駅

※このコースは少し距離があります。1時間で回するには国際マーケットは短時間です。

